

5年

一意専心



- 主体的・協働的に課題に取り組み、自分の思いや考えを広げることができる子（知育）
- ルールや規律を守り、感謝や思いやりの気持ちをもって友達と関わる子（徳育）
- 善悪の判断ができ、正しいと思ったことを進んで実行できる子（徳育）
- どんなことにも最後まで粘り強く取り組む子（体育）

経営方針

- 児童一人一人が自由に表現できる学級の雰囲気づくりをするとともに、個々の児童が活躍できる場面を設ける。
- 学力をしっかり身に付けさせるため、繰り返し学習を基本とし、指導内容・指導体制を工夫し基礎・基本の徹底を図る。
- 学級全体や異学年で活動する機会を活かしたり、意図的に設けたりして、友達との関わりを深める。
- 折に触れ、善悪を考える場面をつくり、正しいことは勇気をもって行おうとする気持ちを育てる。
- 何事にも失敗を恐れず、やる気をもって主体的に取り組む機会をつくり、最後までやり抜こうとする態度を育てる。

各教科

- ・筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め自己の考えを広げたり深めたりできるようにする。
- ・社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるように指導する。
- ・授業の中で、タブレット端末を効果的に使って学習を進め、新しい授業態勢を構築し、問題解決に取り組めるようにする。
- ・数学的な考え方のよさや楽しさに気付き、学習を振り返って、途中の思考を大切に問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
- ・学習内容から自らの課題を見だし、予想や仮説、計画に基づいた観察や実験などを行う授業を実施する。
- ・友人との関わりを通して、よりよい生活を送るにはどうしたらいいのかを考えさせ、実践への意欲付けを図る。

学級活動・生徒指導

【学級活動】

- ・高学年としての自覚をもたせ、けじめのある態度、場にふさわしい行動を常に意識させる。また、目標に向けて、最後まで努力することを大切にさせ、常に挑戦していこうとする気持ちを育てていく。
- ・自己発信力を高めるため、朝の会でスピーチタイムを行う。質疑応答の時間を設け、話を聞き、質問する力を育てていく。
- ・生活課題を具体的に解決し、実践力を高め、望ましい人間関係や生活態度を育てていく。

【生徒指導】

- ・いじめや仲間外しを断固として許さないという強い意識をもたせる。
- ・トラブルを見逃さず、早期発見と早期対応に心がけ、その解決には十分な時間をとり、互いが納得できるよう努める。

総合的な学習の時間

テーマ ともにいきる～みんなに優しい世の中を目指して～

ねらい：現代の社会的弱者に対する課題を見つけ、どのような対応サービスが行われているか調べ、いろいろな方法で工夫しながら追求し、自分たちに何ができるかを考え、活動できるようにする。